

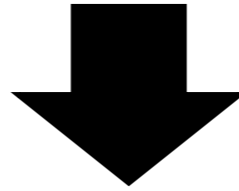
		令和5年度行政事業レビューシート			(文部科学省)		
事業名	医師の働き方改革に伴う大学病院改革緊急パッケージ			担当部局	高等教育局	作成責任者	
事業開始年度	令和6年度	事業終了(予定)年度	令和11年度	担当課室	医学教育課	医学教育課長 俵 幸嗣	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律(令和3年法律第49号)			関係する 計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2023(令和5年6月16日閣議決定)		
政策	4 個性が輝く高等教育の振興口			主要経費	教育振興助成費		
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	大学病院が地域医療確保暫定特例水準が解消される2035年度末も見据え、働き方改革を進めながら、医師派遣を含めた診療を確保しつつ、教育研究機能を維持するため、中長期的に持続可能な運営体制を確保するための構造改革を行い、医師の働き方改革及び大学病院の機能維持の両立を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	令和6年度から医師の時間外労働の上限規制が適用されるため、大学病院においても、働き方改革を進め、適正な労働環境の整備が必須。他方で、大学病院が質の高い医療や医療人材を地域に提供するには、教育(高度な医療人材の育成)や研究(医療技術開発、創薬等)機能の維持も不可欠。また、若手医師にとっての大学病院の魅力は、最先端機器等を使用した高度で先端的な医療や臨床研究の実践等であり、地域医療を支える大学病院の基盤維持のためにも教育研究機能の維持が不可欠。 ・960時間を超える時間外労働の総時間数…10,877,304時間(令和4年度文部科学省委託事業「大学病院における医師の働き方に関する調査研究報告書」(医師個人調査)を元に推定) ・教育・研究・診療・その他業務時間の構成比率…教育:研究:診療:その他=10.7%:13.0%:64.4%:11.9%(令和4年度文部科学省委託事業「大学病院における医師の働き方に関する調査研究報告書」(医師個人調査)より)						
事業概要 (5行程度以内)	本事業では、将来における医療人材の質の低下や国民が新薬や新たな医療技術を楽しむ機会を失わないように、大学病院に対して、社会に不可欠な機能維持のため、改革プランの策定を促すとともに、改革に向けた取組に対して支援を行う。具体的には、業務効率化や地域の医療機関との機能分化等による「運営改革」とともに、「人員構造改革」、「教育・研究改革」に取り組んだ上で、持続可能な大学病院経営を実現するため「財務構造改革」を進めていく。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	12,000
		執行額(G)	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	高等教育振興費			要望額:要求額のうち、「重要政策推進枠」12,000百万円		
	(目)	大学改革推進等補助金		12,000			
		その他	-	0			
	計(A)	-	12,000				

活動内容① (アクティビティ)	大学病院の改革プランに基づき、中長期的に持続可能な運営体制を確保するために構造改革を行う大学病院を対象に、改革に向けた取組に対して支援を行う。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	大学病院の改革プランの策定	改革プランを策定し大学病院 改革に取り組む大学数	活動実績 当初見込み	- 大学数	-	-	-	-	-	81
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本事業は、医師の働き方改革及び大学病院の機能維持の両立という目的を達成するため、各大学病院がその実状に応じた運営、人員、教育・研究・診療、財務等に係る改革プランを策定し、取組を進めるものであるが、文部科学省としては、地域医療確保暫定特例水準が解消される見込みの2035年度末も見据え、960時間を超える時間外労働の総時間数及び教育・研究時間について継続的にモニタリングしていくこととする。改革の成果は徐々に現れていくものと考えられることから、まずは4年目までの目標水準を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9年度		
	各大学が自ら策定した大学病院の改革プランに基づき取組を進め、960時間を超える時間外労働の総時間数が令和4年度委託調査時から25%減少する。	大学病院に勤務する医師の960時間を超える時間外労働の総時間数	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	時間	-	-	-	7,500,000		
達成度	%	-	-	-	-	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度文部科学省委託事業「大学病院における医師の働き方に関する調査研究報告書」 各大学が策定する大学病院の改革プラン及びそのフォローアップ 設定した成果指標のほか、各大学病院の実施計画における教育、研究、診療等の取組状況を確認する。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	4年目までの成果に係る中間評価の結果を踏まえて、各大学病院の改革プランに基づく取組を一層改善・促進し6年目までサポートするため、6年目までの目標水準を中期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 11年度		
	各大学が自ら策定した大学病院の改革プランに基づき取組を進め、960時間を超える時間外労働の総時間数が令和4年度委託調査時から50%減少する。	大学病院に勤務する医師の960時間を超える時間外労働の総時間数	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	時間	-	-	-	5,000,000		
達成度	%	-	-	-	-	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度文部科学省委託事業「大学病院における医師の働き方に関する調査研究報告書」 各大学が策定する大学病院の改革プラン及びそのフォローアップ 設定した成果指標のほか、各大学病院の実施計画における教育、研究、診療等の取組状況を確認する。									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	地域医療確保暫定特例水準が解消される見込みの2035年度末に、960時間を超える時間外労働の総時間数が「0時間」になることを長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 17年度		
	960時間を超える時間外労働の総時間数が「0」になる。	大学病院に勤務する医師の960時間を超える時間外労働の総時間数	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	時間	-	-	-	0		
達成度	%	-	-	-	-	-				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度文部科学省委託事業「大学病院における医師の働き方に関する調査研究報告書」 各大学が策定する大学病院の改革プラン及びそのフォローアップ									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)	【再掲】大学病院の改革プランに基づき、中長期的に持続可能な運営体制を確保するために構造改革を行う大学病院を対象に、改革に向けた取組に対して支援を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	【再掲】大学病院の改革プランの策定	【再掲】改革プランを策定し大学病院改革に取り組む大学数	活動実績 当初見込み	大学数	-	-	-	-	81
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	【再掲】本事業は、医師の働き方改革及び大学病院の機能維持の両立という目的を達成するため、各大学病院がその実状に応じた運営、人員、教育・研究・診療、財務等に係る改革プランを策定し、取組を進めるものであるが、文部科学省としては、地域医療確保暫定特例水準が解消される見込みの2035年度末も見据え、960時間を超える時間外労働の総時間数及び教育・研究時間について継続的にモニタリングしていくこととする。改革の成果は徐々に現れていくものと考えられることから、まずは4年目までの目標水準を短期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9年度	
	各大学が自ら策定した大学病院の改革プランに基づき取組を進め、令和4年度委託調査時における教育・研究時間数が維持される。	大学病院に勤務する医師の週当たり教育・研究時間(1人当たり時間数)	成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	時間	-	-	-	13.1	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度文部科学省委託事業「大学病院における医師の働き方に関する調査研究報告書」 各大学が策定する大学病院の改革プラン及びそのフォローアップ 設定した成果指標のほか、各大学病院の実施計画における教育、研究、診療等の取組状況を確認する。								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	【再掲】4年目までの成果に係る中間評価の結果を踏まえて、各大学病院の改革プランに基づく取組を一層改善・促進し6年目までサポートするため、6年目までの目標水準を中期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績②-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 11年度	
	各大学が自ら策定した大学病院の改革プランに基づき取組を進め、令和4年度委託調査時における教育・研究時間数が維持される。	大学病院に勤務する医師の週当たり教育・研究時間(1人当たり時間数)	成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	時間	-	-	-	13.1	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度文部科学省委託事業「大学病院における医師の働き方に関する調査研究報告書」 各大学が策定する大学病院の改革プラン及びそのフォローアップ 設定した成果指標のほか、各大学病院の実施計画における教育、研究、診療等の取組状況を確認する。								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	地域医療確保暫定特例水準が解消される見込みの2035年度末においても、令和4年度委託調査時における教育・研究時間数が維持されることを長期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 17年度	
	令和4年度委託調査時における教育・研究時間数が維持される。	大学病院に勤務する医師の週当たり教育・研究時間(1人当たり時間数)	成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	時間	-	-	-	13.1	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度文部科学省委託事業「大学病院における医師の働き方に関する調査研究報告書」 各大学が策定する大学病院の改革プラン及びそのフォローアップ								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

文部科学省
(12,000百万円)

各大学病院に対して、改革プランの策定を促すとともに、改革に向けた取組に対して支援する。



【補助金等交付】

A.大学
(12,000百万円)

各大学が策定する改革プランに基づき、運営改革、人員構造改革、教育・研究改革に取り組み、財務構造改革を進める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック